

平成31年度(令和元年度) 社会福祉法人 平成福社会 本部事業報告書

一. 法人概要	(1) 設立等	認可年月日	平成元年7月4日	(2) 法人運営	理事	定数	8名
		登記年月日	平成元年7月14日		監事	定数	2名
	(3) 経営事業				評議員	定数	9名

事業の種類別	名称	定員	事業開始
1種 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護)	シャイン	50名	平成22年10月1日
2種 障害福祉サービス事業(短期入所)		2名	平成5年4月1日
2種 介護老人保健施設	ハイム・ゾンネ	84名	平成12年4月1日

二. 法人本部の役割

理事長直属の機関として、両施設における①コンプライアンス(法令遵守)の徹底と②相互牽制と規則に基づく組織運営(コーポレートガバナンス)による不正行為発生防止機能や③危機管理機能、④情報公開機能を担うとともに、当会が民間事業者としての創意工夫や経営の効率性を発揮し⑤地域の付託に応え、良質なサービスを合理的な価格で持続的かつ安定的に提供するために必要な利用者処遇向上ならびに職員の人事施策を企画立案し、⑥両施設の運営を機動的に支援しました。

三. 役員会等の開催状況

1. 理事会評議員会の開催状況と審議事項
 (1) 令和元年5月25日 第1回 理事会
 なお議事録署名人は、理事会は出席理事及び監事全員。評議員会は都度、評議員会議長が2名を指名する。

議案	①平成30年度 事業報告	議案	⑤理事候補者ならびに監事候補者の選定
	②平成30年度 決算と監事監査結果		⑥定時評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について
	③平成30年度 社会福祉充実残額の算定結果について	報告	①大口寄付の報告
	④理事長及び常務理事の職務の執行状況について(平成31年3月～平成31年4月)		②基本財産処分手続き(建物解体、土地の一部売却)の経過報告

(2) 令和元年6月15日 第1回 評議員会(定時評議員会)

議案	①平成30年度 事業報告	報告	①大口寄付の報告
	②平成30年度 決算と監事監査結果		②基本財産処分手続き(建物解体、土地の一部売却)の経過報告
	③役員(理事及び監事)の選任について		

(3) 令和元年6月15日 第2回 理事会

議案	①理事長の選定について	議案	②常務理事の選定について
----	-------------	----	--------------

(4) 令和元年9月14日 第3回 理事会

議案	①令和元年10月の消費税率引き上げに合わせ実施される①「基本単位数の引き上げ(消費税対応改定)ならびに②新設される「特定処遇改善加算」の算定に伴う、老人保健施設ハイム・ゾンネの運営規程、利用約款ならびに重要事項説明書の改定	議案	④辞任による内山宗一監事のご退任と、新たな監事候補者の選任
	②令和元年10月の消費税率引き上げに合わせ実施される①「基本単位数の引き上げ(消費税対応改定)ならびに②新設される「福祉・特定処遇改善加算」の算定に伴う、障害者支援施設シャインの重要事項説明書の改定		⑤障害者支援施設シャインの整備(大規模修繕)計画と当該工事に係る来年度(令和2年度)国庫補助協議申請
	③基本財産処分に係る定款変更認可申請		⑥理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和元年5月～令和元年8月)
			⑦評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について
		報告	⑧内山委員退任に伴う、評議員選任・解任委員会委員の選任
		報告	①基本財産処分手続きの経過報告

(5) 令和元年10月19日 第2回 評議員会(臨時評議員会)

議案	①基本財産処分に係る定款変更認可申請	報告	⑤障害者支援施設シャインの整備(大規模修繕)計画と当該工事に係る来年度(令和2年度)国庫補助協議申請
	②辞任による内山宗一監事のご退任と、新たな監事の選任		
報告	①基本財産処分手続きの経過報告		

(6) 令和元年12月7日 第4回 理事会

議案	①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和元年9月～令和元年11月)	報告	人保健施設ハイム・ゾンネに対する指定介護保険サービス事業者等の実地指導の結果について
	②令和元年11月12日(火)に実施された老		

(7) 令和元年2月22日 第5回 理事会

議案	①平成31年度 補正予算	報告	①老人保健施設ハイム・ゾンネに対する指定介護保険サービス事業者等の実地指導において、龍野健康福祉事務所が、国が適用(準用)を認めていない特養(老人福祉施設)の基準を持ちだして、加算金(「夜勤職員配置加算」約2,000万円)の返還を当会に要求しております。
	②令和2年度 事業計画		
	③令和2年度 取支予算		
	④理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和元年12月～令和2年2月)		
	⑤評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について		

(8) 令和2年3月21日 第3回 評議員会(臨時評議員会)

議案	①平成31年度 補正予算	議案	③令和2年度 取支予算
	②令和2年度 事業計画		

2. 監事監査 令和2年5月9日 実施予定 (富田監事と鎌井監事[内山監事のご後任]による)

3. 経営企画会議の開催状況

[開催日] 4月23日,5月28日,6月25日,7月30日,8月27日,9月24日,10月29日,11月26日,1月28日,2月10日,3月10日

[参加者] 大田理事長、辻本常務理事、尾崎理事、矢内理事、関施設長、早川施設長、林事務長

四. 重点課題への取り組み

1.	法人課題への取り組み・・・ 決定事項の確実な執行																
	(1) 基本財産処分～佐用朝霧園の新築移転	解体に係る追加負担は無くなったが、PCB処理は当会扱。くぼ地・地中埋設物は検取後に佐用町が処理。立木撤去は堤防悪影響と、設計士が残す。福祉三拠点の玄関口は町が整備。“農道”は継続協議															
	(2) 入札の執行	ハイム・ゾンネ3階空調更新工事の施工業者を選定															
2.	危機管理・・・ リスクの予測・評価と機動的な施設支援																
	(1) ゾンネ実地指導～夜勤職員配置加算をめぐる対立	十分な釈明機会を与えず、当日の講評の場で、当会の存続が危うくなる規模の報酬返還を宣告する異様さに、直ちに法人本部が介入。論点整理の上、3日後に異議申立。その後、数次にわたり当方の正当性と指導内容の矛盾点を立証も、当方が論拠として引用の、厚労省Q&Aの回答を「内容が適切とは言えない」と否定す。根拠不明で前代未聞な指導が4カ月間続くも、当方が厚労省本省への直接確認に踏み切ったことを機に、保険者の佐用町長が西播磨県民局長に働き掛けていただき収束。(事務1名退職)															
	(2) ゾンネ利用者転落事案	3月14日(土)身長145cmの利用者が、ベランダの“足がかり”に足を掛け、116cmの手摺を乗り越え、2階から1階へ転落。搬送先で3月22日(日)逝去。過去30年間に類似転落事故なし。転落原因は県警が捜査中ながら、施設の事故対策委員会でサービス提供の在り方・課題を検討。施設外の専門家(設計士、セキュリティー会社、損保、弁護士)からも再発防止策の提案収集															
	(3) 応援職員の派遣	シャイン利用者の褥瘡ケアが途切れることのないようゾンネ看護師が応援															
3.	法人一体運営・・・ 法人単位の経営を担保する仕組み																
	(1) ガバナンス(法人統治)	ルールに基づく組織運営のため諸規程を整備したが、資質に負うところ大															
	(2) 決済ライン (会計・給与システムは本部・施設統合済)	なお資金と人事運営は、理事長と常務理事決済を要する基準を設けることで、三拠点の一体運営体制と、多層監視体制を確保しています。															
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>本部</td> <td>ハイム・ゾンネ</td> <td>シャイン</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>起案総数</td> <td>95</td> <td>212</td> <td>157</td> <td>464</td> </tr> <tr> <td>うち理事長(%)</td> <td>10(10.5)</td> <td>48(22.6)</td> <td>55(35.0)</td> <td>113(24.4)</td> </tr> </table>		本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計	起案総数	95	212	157	464	うち理事長(%)	10(10.5)	48(22.6)	55(35.0)	113(24.4)
	本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計													
起案総数	95	212	157	464													
うち理事長(%)	10(10.5)	48(22.6)	55(35.0)	113(24.4)													
4.	経営戦略・・・ 当会を維持・発展させる仕掛け																
	(1) コンプライアンス(法令遵守)	県情報公開システムで自主点検結果を公表(1月10日)、法人本部は家族懇談会で報酬改定や経営方針・トピックスの説明(9月25日)。															
	(2) 働きやすい職場づくり	手書き文書のケア管理システムへの移行と習熟を進め、改正就業規則の施行にて 短時間正職員 制度(ゾンネ1名・シャイン2名)、 介護・育児支援制度 、 リフレッシュ休暇 制度運用開始。さらに定年延長の“受け皿”や有益な中途採用者の“待機ポスト”として、部下のいない 担当課長(主任)制度 を導入															
	(3) 人材育成・・・役割期待の認識・自覚を促し、当会サービスの質的向上を狙うもの。																
	(ア) キャリアパス制度	副主任登用の基本条件とした介護福祉士資格取得者は累計16名。															
	(イ) 処遇改善	定昇・賞与(基本給×4カ月)を維持。当会介護職員(生活支援員)の平均給与は、平成22年度以降全国平均を上回っており、7名が他産業平均年収440万円を超え 国の政策目標を達成していたことから、『特定処遇改善加算の分配(支給)にあたっては、介護職員他あまねく多職種を対象とできた。															
		<table border="1"> <tr> <td>1ヶ月あたりの支給額</td> <td>ハイム・ゾンネ</td> <td>シャイン</td> </tr> <tr> <td>a 経験・技能のある介護職員</td> <td>17,000円</td> <td>14,500円</td> </tr> <tr> <td>b 他の介護職員(介護福祉士以外)</td> <td>8,500円</td> <td>7,250円</td> </tr> <tr> <td>c その他の職種</td> <td>8,500円</td> <td>7,250円</td> </tr> </table>	1ヶ月あたりの支給額	ハイム・ゾンネ	シャイン	a 経験・技能のある介護職員	17,000円	14,500円	b 他の介護職員(介護福祉士以外)	8,500円	7,250円	c その他の職種	8,500円	7,250円			
1ヶ月あたりの支給額	ハイム・ゾンネ	シャイン															
a 経験・技能のある介護職員	17,000円	14,500円															
b 他の介護職員(介護福祉士以外)	8,500円	7,250円															
c その他の職種	8,500円	7,250円															
	(ウ) 職員自己評価	職務への期待水準を示した「評価基準」に基づく自己評価を継続実施															
	(4) 設備・機器の更新	ハイム・ゾンネは3階空調更新工事を実施、シャインは①浴室、②ナースコール、③消防用自家発の更新を目指し、国庫補助を9月4日申請															
	(5) 地域貢献・公益的な活動・・・地域の付託と期待に応える公益性の発揮。ただし当会職員に過度な負担が生じず、安全で資金負担も小さい企画を継続実行しました。																
	(ア) 清掃活動	「善意の日」に国道179号線(佐用坂～卯の山峠)を清掃(2007年～)															
	(イ) Xmas保育園訪問	全保育園を対象に園児に長靴お菓子、園に電化製品を寄贈(2011年～)															
	(ウ) 消防団夜食差入	南光支団62名、三日月支団60名に地産地消弁当を無償提供(2012年～)															
	(エ) 鹿肉給食と地産地消	お楽しみ給食や「和食の日」に、地産地消の伝統的な和食やシカ肉を提供															
	(オ) 独自減免	他施設で有料費目を無料とし、日常消耗品を廉価提供															